

2019年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	特定非営利活動法人 わたぼうしの家
事業名	安心して暮らせるコミュニティ都市を目指して
課題テーマ	安心して暮らせる都市
事業提案の背景	釧路市では現在認知症カフェ・地域カフェは16団体活動しています。これをさらに広げ継続させる必要があります。そこで15年間続けている当法人「地域食堂」で一緒に学び場の提供する。
事業目的	高齢社会で安心して暮らせるためには コミュニティの大切さを当法人で実践している コミュニティレストランの手法を通して理解してもらう
事業概要	日時 令和元年10月16日(水)13:00~ 場所 大成寺(釧路市米町2-2-6) 世古一穂・工藤洋文による「コミレスを通じた高齢社会対応」 終了後 歌旅座JUNCOの昭和歌謡ショーを実施する
事業展開	釧路市の認知症カフェ・地域カフェ・地域食堂関係者を集め 世古一穂氏(金沢大学大学院人間社会環境研究科 教授、特定非営利活動法人 NPO 研修・情報センター代表理事)と当法人 工藤洋文との対談形式で高齢社会で安心して暮らせるためには コミュニティを通して社会形成が必要である旨を伝える。 併せてお年寄りに集まっていた方に向けて歌旅座JUNCO の昭和歌謡ショーを楽しんでもらう。
成果目標の達成状況	地域コミュニティレストランの拡充と継続運営 既存の認知症カフェ・コミュニティレストランなどに参加いただき趣旨を理解し継続にむけた発表があった。
波及効果の達成状況	地域のコミュニティの作り方の手法として 地域食堂・認知症カフェ・地域カフェを利用してコミュニティ の核を作る。現在着々と進んでいます。
実施体制	わたぼうしの家職員並びにボランティアで対応する。
連携した市担当課	<input type="checkbox"/> 無 ・ 有 (部 課・室)
連携した市担当課が 果たした役割 (※有の場合)	

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	150,000	
自己資金	257,149	
合 計	407,149	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
謝礼	40,000	世古一穂氏
旅費	49,595	釧路東京往復 27,280・宿泊 2泊 22,315
使用料・賃借料	38,600	大成寺会場費、会場用椅子
消耗品費	23,606	インク代・看板・横断幕・チケット・招待券・旗さお
印刷製本費	590	案内用
小 計	152,391	
対象外経費		
委託料	200,000	北海道歌旅座講演料
スタッフ食事代	12,292	飲み物、食材、調理謝礼
講師食事代	15,600	講師等食事
役務費	6,866	案内輸送費 4,200円 2,666円
謝礼	20,000	世古一穂氏への謝礼の内、全体事業費の1割を超える部分
小 計	254,758	
合 計	407,149	